

平成30年度農業委員会総会議事録

日時	平成30年4月20日（金）午後1時30分～
場所	さぬき市寒川農村環境改善センター 開会 さぬき市農業委員会会長挨拶 来賓祝辞 議事録署名委員の指名について 議案第1号 平成29年度事業報告の承認について 平成29年度の目標及びその達成に向けた活動報告 議案第2号 平成30年度事業計画（案）について 平成30年度の目標及びその達成に向けた活動計画（案）について
出席委員	農業委員 1 楠 豊 2 蓮池秋男 3 上野壽雄 4 蓮井セツ子 5 松岡浩二 6 稲田俊美 7 大塚ノブ子 8 岡村義弘 9 小川義洋 10 神野 太 11 佐藤恭一 12 芳竹和政 13 岩澤佳宣 14 寒川 巧 16 藤澤 明 17 岩崎治樹(会長職務代理者) 18 松原俊幸(会長) 農地利用最適化推進委員 1 山下 加代子 2 古川 真吾 4 石川 智治 5 大山 博美 6 半田 祐規 9 多田 正憲 10 林 文夫 12 池田 慎夫 13 岡谷 博 15 藤井 景治 16 池田 幸嗣 19 児玉 和宏 20 鹿谷 明弘 22 八木 康夫 23 安西 俊博 25 戸田 修治 26 江崎 雅典 27 細川 和美 28 金藤 壽彦
事務局	藤井浩局長、山下智資課長補佐、北野茂雄課長補佐、松村昌憲副主幹
欠席委員	農業委員 15 十河道夫 農地利用最適化推進委員 3 行梅 義照 7 松岡 勝 8 比貝原 孝博 11 瀬尾 良二 14 岸下 甫 17 秋友 忠 18 川田 政美 21 寒川 孝志 24 有友 亮
来賓	さぬき市 菊池 等 副市長 香川県農業会議 近藤 弥 事務局長 香川県東讃農業改良普及センター 岡崎 力所長

事務局長 平成30年度さぬき市農業委員会総会を開催したいと思います。本日の出席委員を報告します。委員総数18名中17名の出席で農業委員会法第27条第3項の規定により総会の成立要件を満たしていますので、本会は有効に成立しています。
では最初に農業委員会松原会長にご挨拶をお願いします。

議長（会長） みなさん、こんにちは。
平成30年度の農業委員会総会に先立ちまして一言ごあいさつを申し上げます。
本日は公務ご多忙の中、菊池 さぬき副市長様、香川県農業会議 近藤事務局長様、香川県東讃農業改良普及センター 岡崎所長様のご臨席をいただき、お礼申し上げます。

さて、本市農業委員会は、改正農業委員会の施行を受け昨年7月20日に新体制に移行しました。このような中、委員皆様方のご推挙をいただき、引き続き会長の重責を担うことになり、従来にも増して農業・農村の発展に全力を尽くしておるところでございます。

さて、本市では新たな農業委員18名、農地利用最適化推進委員28名が誕生しましたが、農業・農村の活性化、農地を守り有効利用を推進、地域農業を再構築すべきことは、これまでと変わりありません。農業委員、推進委員、事務局とともに、農地機構との連携のもと、「担い手への農地利用の集積・集約化」、「遊休農地の発生防止と解消」、「新規参入の促進」など「農地利用の最適化の推進」に向けて、菊池副市長様を始め、本日もご臨席たまわりました来賓の方々のご指導をいただきながら、一層努力してまいりたい所存です。

どうか、委員各位におかれましては、前向きな議論を期待いたしまして、本日の平成30年度通常総会のあいさつといたします。

事務局長 本日の総会に菊池副市長様にご臨席いただいております。
ご祝辞をいただきたいと思います。

菊池副市長 みなさんこんにちは。今日は夏を思わせるような気温でございます。今日は二十四節の一つであります雨が穀物を潤し、田植えの準備を始める時期のひとつであります。田植えの時期は昔と比べて相当早くなっておりまして、既に作付けが終わっている農地も市内にあちこちと見られるようになりまして、田植えの時期を迎えている今日この頃です。

本日は、平成30年度の農業委員会の総会が皆さんの出席のもと開催されますことを心からお慶び申し上げます。

平成29年6月の議会定例会におきまして、さぬき市の農業委員の同意を得られ、7月20日に大山市長から辞令を交付させていただきました。新しい農業委員会の制度の元に、早くも1年近くが経とうとしています。

農業をされる方や、農業の経営環境と言うのは厳しいものがあります。人口

減少や高齢化、後継者不足、遊休農地や耕作放棄地の問題等がありますが、さぬき市の重要な産業である農業。食料を生み出していきそして安全で安心な食料を供給していただき、農地を守っていく農業。日本の原風景であります農村風景、これを守り、次の世代に繋いでいく、新しいことにも取り組んでいくと。農業委員の皆さんが、地域のリーダーとして、地域のお世話役として、中間管理機構を活用した担い手への集積化や新規参入の促進を通じて、農地利用最適化推進委員さん共々ご協力を頂きながら、引き続いてのご支援後協力をお願い申し上げます。市といたしましても、農業振興に力を入れて参りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。結びとなりますが、農業委員会の今後の益々の発展とお集まりの皆様方のご健勝、ご多幸、さらなるご活躍を心から祈念申し上げましてご挨拶にかえさせていただきます。本日の総会開催誠にありがとうございます。

事務局長

続きまして香川県農業会議の近藤事務局長様にご臨席いただいております。ご祝辞をいただきたいと思ひます。

近藤事務局長

香川県農業会議の近藤でございます。松原会長をはじめ農業委員皆様方、農地利用最適化推進委員の皆様方、農業委員会の業務取り組んでおられますことに対し厚く御礼申し上げます。昨年度、何度かお邪魔させていただきまして、ご説明なり、お願ひをさせていただいてきたところでございます。私事でございますが、この四月一日から事務局長を拝命いたしました。引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

さて、農業と取り巻く情勢につきましては、大きな変化の中にありまして、農業委員会法が平成28年4月に改正され、3年目に入ったということであり、この10月に全国の全ての委員会が新体制に移行され、また、本県におきましては、7月に綾川町と満濃町が新体制になり、すべてが新体制に移行いたします。これまでは、新しい体制をどの様にしていくのかということについて重点を置いてきましたが、本年度からは、新体制が整い、農業委員会法の改正の趣旨であります地域農業、農村の確立を進めていく核であります農地利用等最適化の推進。農地の担い手の集積、集約。遊休農地の解消、新たに農業をしたい方への支援を柱として取り組んでいただきたいということでございます。

一番重要なのは、地域でどの様に有効に活動していくのかが重要であります。農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様が十分に話し合い、日々活動される地域でどの様に農地を活用し、将来にわたって農業の振興を進めていくのかということをご検討いただくことが重要だと思っております。こうした中で通常国会が開催されておりますが、その中で、所有者不明の農地いわゆる未相続の農地が多くあるということであり、法律改正案が出ていますし、また一方では、全面コンクリート張りした農作物の施設を農地扱いにする農地法の改正法律案が予定されております。

最後になりますが、全国農業新聞を配布させていただいております。先ほど

代読させていただきましたが、さぬき市農業委員会におきましては、皆様のご尽力がありまして、3年続けて表彰されているところであります。30年度に入りましても、引き続きご尽力を賜りまして、さぬき市農業委員会で127部という普及をしていただいているところであります。普及の目的としては、多くの方々に知っていただくことが1点、農業農村の状況をこの新聞で知っていただくこととございます。普及にもご尽力を賜りたいということでよろしく申し上げます。最後になりますが、さぬき市の農業また農地の旗振り役として農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様方、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

事務局長

ありがとうございました。引き続きまして、香川県東讃農業改良普及センター岡崎所長様にご臨席いただいております。ご祝辞をいただきたいと思っております。

岡崎所長

本日は、さぬき市農業委員会の通常総会の開催誠にありがとうございます。私、ただ今ご紹介いただきました東讃農業改良普及センター岡崎と申します。この四月一日に高松市の農林水産課から派遣をされておりました、県の方に戻りまして所長を拝命いたしました。今後ともよろしく申し上げます。この場をお借りして、皆様方に普及センターの普及活動についてご理解とご協力をいただいておりますことをまずもってお礼申し上げます。さて、最近の農業、農村を取り巻く情勢につきましては、農業従事者の高齢化、減少という中で耕作放棄地の増加、鳥獣被害の増加ということで、農業、農村の維持発展が懸念される状況となっております。本県においては、平成28年度から5年間、香川県農業農村基本計画を策定しています。特に重要な柱である力強い担い手の育成というような内容について取り組んでいるところであります。東讃管内の状況ですが、平成29年度の新規就農者46名、認定農業者91経営体と昨年度から11経営体増加しております。集落営農組織は90組織と3桁にもう少しで届くといった状況であります。今後、こういった担い手の確保、育成の促進を進め、農地中間管理事業を効果的に活用して、農地の集積、集約を推進することが肝要と考えております。改正農業委員会法によりまして、農地利用最適化推進が必須業務となりました。農業委員会の皆様方と密接な連携をいただきながら、普及センターとしても担い手の確保、育成に全力で取り組んで参る所存でございますので、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いたします。最後になりますが、さぬき市農業委員会の益々のご発展と、今日ご参集の皆様方のご健康、ご多幸を祈念いたしまして総会のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

事務局長

ありがとうございました。なお、副市長様におかれましては公務都合により退席させていただきます。

次に総会の議長につきましては、さぬき市農業委員会総会会議規則第6条に「会長は総会の議長となり、議事を総理する」と定められておりますので、会長のほうで進行をお願いします。

議長（会長）

定めによりまして、会長が議長を努めるということなので私のほうで総会を進めさせていただきます。議事の進行につきましてご協力をお願い致します。

では、「議事録署名委員の選任について」ですが規程に従い私のほうから指名致します。

では、3番 上野壽雄委員、4番 蓮井セツ子委員の両委員さんをお願いします。続いて、議事に入りたいと思います。

議案第1号「平成29年度事業報告について」、「平成29年度の目標及びその達成に向けた活動報告」を上程します。

事務局より説明を求めます。

事務局

議案第1号「平成29年度事業報告の承認について」

1 平成29年度概況報告の説明

2 総会及び運営委員会の開催状況の説明

3 定例会の開催状況の説明

4 その他の会議の開催状況の説明

5 農地関係取扱状況（(1)農地法3条・(2)4条・(3)5条、(4)非農地証明、(5)各種証明関係(6)農振除外申請審議、(7)農地利用状況調査実施結果）の説明

6 農政関係取扱状況

(1) 農業経営基盤強化促進法による流動化実績の説明

(2) 農業者年金事務の説明

(3) 農政PT（女性）会議の開催状況の説明

(4) 農業委員会広報活動の実施状況の説明

(5) 農家相談会の実施状況の説明

(6) 市単独農業委員研修の実施状況の説明

(7) (別紙様式1)平成29年度の目標及びその達成に向けた活動報告についての説明

議長（会長）

事務局の説明が終わりました。「平成29年度事業報告について」、「平成29年度の目標及びその達成に向けた活動報告」の委員皆様のご意見をお聞きしたいと思います。

「異義なし」との声あり。

議案第1号「平成29年度事業報告について」、「平成29年度の目標及びその達成に向けた活動報告」は承認いただいたものとします。

続いて、議案第2号「平成30年度事業計画（案）について」、「平成30年度の目標及び達成に向けた活動計画（案）」についてを上程します。事務局に説

明を求めます。

事務局

議案第2号 「平成30年度事業計画（案）について」

- ・平成30年度事業方針の説明
- ・事業内容の説明
- ・(別紙様式2)平成30年度の目標及びその達成に向けた活動計画（案）の説明

議長（会長）

事務局の説明が終わりました。「平成30年度事業計画（案）について」、「平成30年度の目標及び達成に向けた活動計画（案）について」委員の皆様のご意見をお聞きしたいと思います。

鹿谷昭弘推進
委員

議長、推進委員は質問して構いませんか。

議長（会長）

推進委員は意見だけで、ご質問はご遠慮願いたいと思います。

鹿谷昭弘推進
委員

もう一点、案内をいただいたのですが、この文面では一切どういう会が行われるか分かりません。質問ができないのであれば、できないというような文面を併せて提示していただきたいのですがよろしくお願いします。

議長（会長）

はい、分かりました。
他にありませんか。

全委員

質問なし。

議長（会長）

それでは意見もないようですので、議案第2号「平成30年度事業計画（案）について」、「平成30年度の目標及びその達成に向けた活動計画（案）について」は原案承認ということで処理してよろしいでしょうか。

「異議なし」との声あり。

議長（会長）

それでは異議なしと認め、議案第2号「平成30年度事業報告（案）について」、「平成30年度の目標及びその達成に向けた活動計画（案）について」は原案承認とします。（案）という字を消してください。

本日の上程議案については議了致しましたが、他に委員さん、事務局から発言がありましたら発言を認めます。

発言なし。

それでは、平成30年度農業委員会総会を閉会します。

長らくのご審議ありがとうございました。

尚、午後3時から農業委員会定例会を開催致しますので、ご出席をお願いします

す。

(14時45分閉会)

上記は会議の顛末を録して正当なることを証して署名する。

農業委員会会長（議長）

署名委員 3番

署名委員 4番
